

令和8年（2026年）度特別展「やまぐち昆虫発見隊」 開催要項

1 趣旨

近年、子どもたちの自然環境への関心の希薄化が進む一方、人と生き物との境界線は曖昧になり、身の回りでは様々な生き物と接する機会が多く存在します。本特別展では、身近に存在しながら十分に知られていない昆虫に着目し、生き物への関心を喚起することを目的として開催します。浜松科学館がSNS上での昆虫相談企画に寄せられた約2万件の質問を分析して発表した「身近で気になる昆虫ランキング」を山口県版に再構成し、県内特有の昆虫や地域文化に根付いた昆虫を紹介します。

また体験型コンテンツや屋外での昆虫探し企画を通じて、昆虫の生態を分かりやすく紹介し、次世代を担う子どもたちの自然に関する学びを支援するとともに、県民の環境保全意識の向上につなげます。あわせて、県内の豊かな自然景観の魅力を発信し、交流人口の拡大や地域活性化につなげる契機とします。

2 会期

令和8年（2026年）7月23日（木）～8月23日（日） 28日間
（休館日 月曜日（8月10日（月）は3連休の中日であるが休館））

3 入館料

一般 1,000 円、学生・シニア（70 歳以上の方） 650 円

有料入館者 20 名以上の団体（一般 800 円、学生・シニア 500 円）

18 才以下の方及び高等学校、中等教育学校、特別支援学校等に在学する生徒は無料

4 主催

山口県、山口県教育委員会、「やまぐち昆虫発見隊」実行委員会（山口県立山口博物館、公益財団法人山口県ひとづくり財団、地方独立行政法人山口県産業技術センター、一般社団法人山口県観光連盟、yab 山口朝日放送株式会社、株式会社みなと山口合同新聞社）

5 協賛等

【協力】浜松科学館みらいーら、鳥根県立三瓶自然館サヒメル、新光産業きらら浜自然観察公園、下関市立自然史博物館豊田ホテルの里ミュージアム、萩博物館、岩国石人形資料館、美祢市立秋吉台科学博物館、やまぐち昆虫楽会、山口むしの会、山口県ベッコウトンボ調査グループ、アサギマダラの会

【後援】NHK 山口放送局、エフエム山口、山口ケーブルビジョン、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、中国新聞防長本社、宇部日報社

6 展示内容

(1) 身近で気になる昆虫ランキング

山奥でしか見つからないような昆虫や、知名度の高い昆虫ではなく、身近な環境でよく見るものの、類似種と紛らわしかったり、まだ名前が十分に知られていない昆虫が主役となっています。

(2) Let's Go 昆虫ハンティング

生き物観察アプリを使った親子で楽しむ昆虫探し企画です。参加者は生き物観察アプリをダウンロードし、ミッション（お題）の昆虫を探しながら、自然の中で過ごすきっかけをつくります。クエスト達成者はプレゼント応募が可能です。

(3) 山口県の昆虫

山口県では 8,000 種を超える昆虫がこれまでに確認されています。山口博物館の所蔵する昆虫標本を一挙大公開。また週替わりで地域文化に根付いた昆虫を、山口博物館のオリジナルの昆虫 AI を用いた体験型コンテンツとして取り上げます。

第1週「夏ミカンとクロアゲハ類」

第2週「長門峡のシジミチョウ類」

第3週「秋吉台のヒョウモンチョウ類」

第4週「甕れ！ベッコウトンボ」

その他

- ・石人形を形成するニンギョウトビケラ（岩国市）
- ・旅する蝶、アサギマダラのマーキング調査（県内全域）など

(4) 昆虫と遊ぼう！体験コーナー

- ・アサギマダラの舞うお花畑フォトスポット
- ・昆虫お絵かきパラダイス
描いたイラストが投影され、動き出す参加型アトラクションです。
(有料 お絵描き用紙付き体験チケット 100円)

(5) オリジナルグッズ販売

- ・山口博物館オリジナルモビール等 300円

7 広報・イベント等

- ・ミュージアム観光リレー（仮称）

県内の博物館施設に加え、自然観察公園などの自然環境に関する施設にもキーワードを設置し、来館者がキーワードを集めプレゼント応募する形で、来館者の周遊性を高める企画です。

- ・「山口県の昆虫」公募企画

- ・ギャラリートーク

浜松科学館学芸員、きらら浜観察公園レンジャー、やまぐち昆虫楽会

- ・Happy bug day 企画

昆虫標本に必ず記録されている「標本採集日」と来場者の誕生日との一致を通じて、身近な自然との偶然のつながりを感じてもらい、博物館に親しみを持ってもらう機会にします。

- ・夜のライトトラップ体験（無料）

春日山に光源で走光性の昆虫を誘引するライトトラップを展開し、子どもたちに普段体験できない昆虫採集法を経験する機会をつくれます。

など